

長崎労働局発表
令和5年4月18日(火)

【照会先】
長崎労働局労働基準部健康安全課
課長 依 勝利
地方労働衛生専門官 中川 征治
(電話) 095-801-0032

報道関係者 各位

職場における熱中症予防対策の徹底を！

～STOP！熱中症 クールワークキャンペーンを実施～

長崎労働局（局長 小城英樹）は、職場における熱中症予防対策を徹底するため、令和5年5月1日から9月30日までの間、「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を県下全域で実施します。

特に、事業者に対して、①WBGT値（暑さ指数）の把握とその値に応じた熱中症予防対策を適切に実施すること、②作業を管理する者及び労働者に対してあらかじめ労働衛生教育を行うこと、③衛生管理者などを中心に事業場としての管理体制を整え、発症時・緊急時の措置を確認し、周知すること、に重点を置き、周知します。

1 「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」の実施期間

令和5年5月～9月（4月準備期間、7月重点取組期間）

2 「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」の概要

- (1) 各種団体等への本キャンペーンの周知要請
- (2) 労働基準監督署で開催する各種説明会における周知啓発
- (3) 労働基準監督署による事業場に対する個別指導時の周知啓発
- (4) 長崎労働局ホームページ掲載による周知啓発
- (5) 熱中症予防に係る特設サイトの開設（本省）

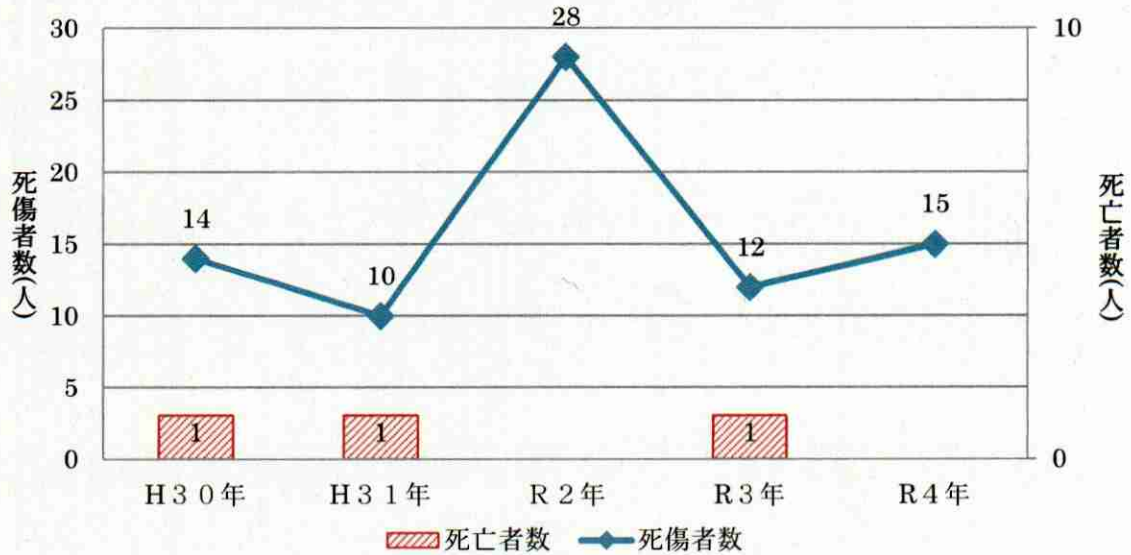
3 「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」期間中の各事業場の取組内容

各事業場における具体的な取組内容については、添付資料1のとおり。

4 職場における熱中症による死傷災害の発生状況

- (1) 令和4年及び過去5年間の熱中症による死傷者数の状況（添付資料2参照）
職場での熱中症による死亡者数及び休業4日以上の上業務上疾病者数（以下「死傷者数」という。）は、令和4年において15人（うち死亡者はゼロ）でした。
前年（令和3年）と比較すると、休業4日以上の上業務上疾病者数は3人増加したものの、死亡災害は1件減少しました。
過去5年間（平成30年～令和4年）における発生状況をみると、死傷者数合計は79人で、特に令和2年は28人と突出して多くなっています。

職場における熱中症による死傷者数の推移

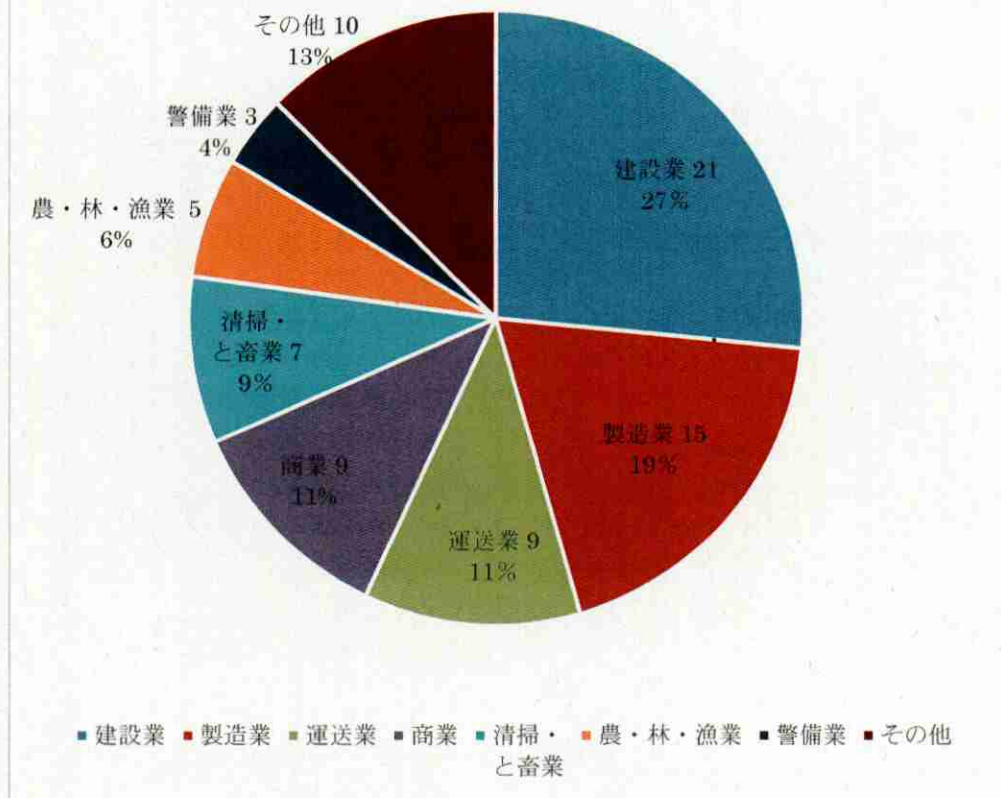


(2) 業種別発生状況

過去5年間の熱中症による死傷者数について、業種別の発生状況をみると、建設業が21人と最も多く、次いで製造業15人、運送業及び商業で各9人の順となっており、この4業種で全体の約68%を占めます。

死亡災害の3人の業種は、建設業2人、運送業1人となっています。

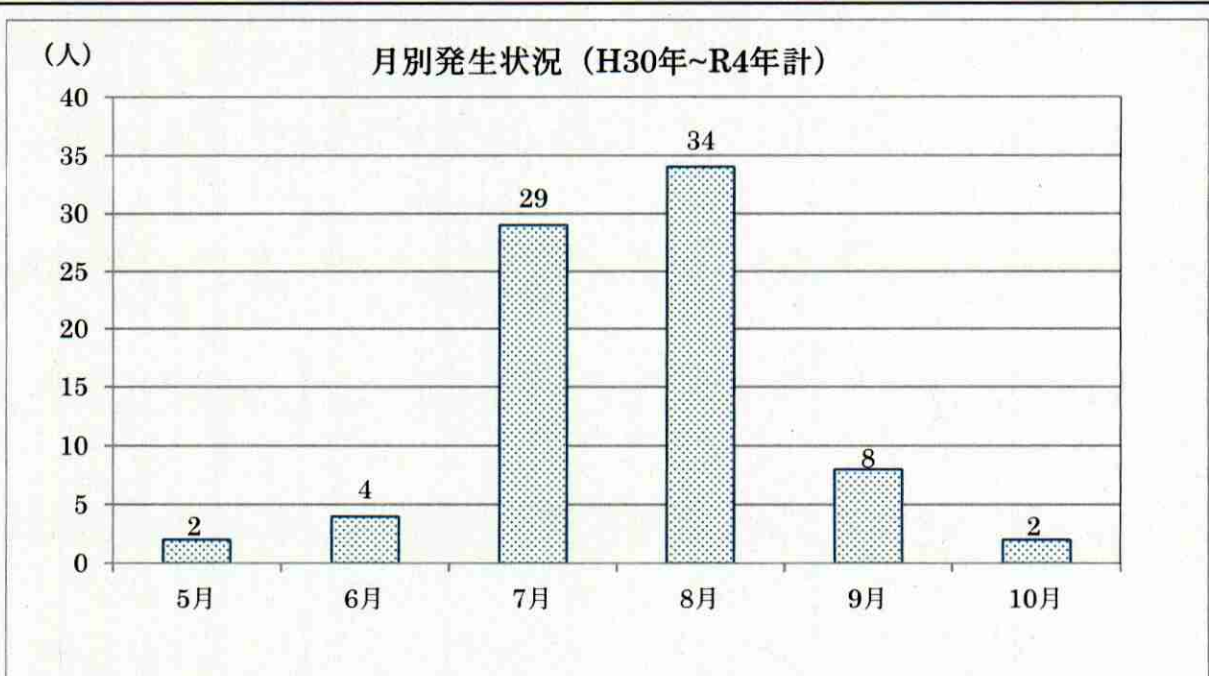
業種別発生状況 (H30年～R4年計)



(3) 月別発生状況

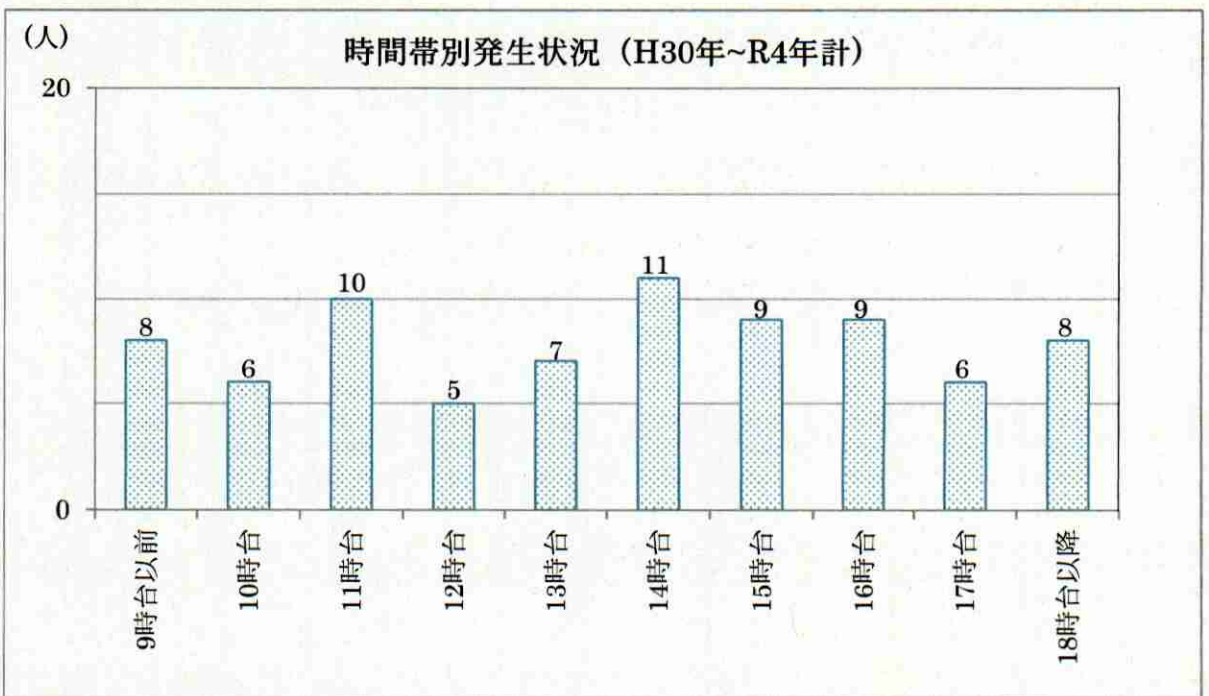
過去5年間の熱中症による死傷者数について月別の発生状況をみると、全体の約8割が7月及び8月に発生しています。

死亡災害の3人の発生月は、7月1人、8月2人となっています。



(4) 時間帯別発生状況

過去5年間の熱中症による死傷者数について、時間帯別の発生状況を見ると、14時台が最も多く、次いで11時台、15時台及び16時台の順となっています。なお、勤務時間終了後に帰宅してから体調が悪化して病院に搬送されるケースもありました。



別添資料1 「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」リーフレット

別添資料2 令和4年 長崎労働局管内の熱中症による労働災害

参考 特設サイト「学ぼう! 備えよう! 職場の仲間を守ろう! 職場における熱中症予防情報」

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

STOP！熱中症

クールワークキャンペーン

職場での熱中症により毎年約20人が亡くなり、約600人が4日以上仕事を休んでいます。

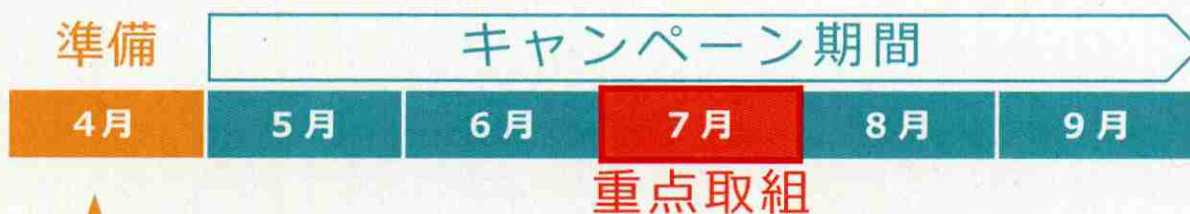


労働災害防止キャラクター

チューイカン吉



キャンペーン実施要項



準備期間（4月）にすべきこと

きちんと実施されているかを確認し、チェックしましょう

<input type="checkbox"/>	労働衛生管理体制の確立	事業場での熱中症予防の責任体制を確立
<input type="checkbox"/>	暑さ指数の把握の準備	JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し、点検
<input type="checkbox"/>	作業計画の策定	暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止に関する事項を含めた作業計画を策定
<input type="checkbox"/>	設備対策の検討	簡易な屋根、通風または冷房設備、散水設備の設置を検討
<input type="checkbox"/>	休憩場所の確保の検討	冷房を備えた休憩場所や涼しい休憩場所の確保を検討
<input type="checkbox"/>	服装の検討	透湿性と通気性の良い服装を準備、身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討
<input type="checkbox"/>	緊急時の対応の事前確認	緊急時の対応を確認し、労働者に周知
<input type="checkbox"/>	教育研修の実施	管理者、労働者に対する教育を実施

【主催】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

